

子どものSOS受け止め方講演会

◎保健課健康増進・元気プロジェクト係 ☎内線 164



①講師の高橋聡美先生 ②会場の様子 ③会場後方にある親子室 ④会場の別室に設けた親子室（プロジェクターで講演を視聴）

子ども・若者の依存の理解と対応



▲講師の高橋聡美先生（中央大学人文科学研究所客員研究員、一般社団法人高橋聡美研究室代表）

保健課が実施する講演会以外の自殺対策事業例

- 1/SOSの出し方教育授業**
小学6年生（複式学級の場合は5年生も含む）と中学生を対象としたSOSの出し方に関するスキルを学ぶ授業
- 2/SOSの受け止め方教育研修会**
教育従事者における児童・生徒のSOS受け止め方に関するスキルを学ぶ研修会
- 3/たるみず寄りそい心の相談**
3つの相談方法（対面・電話・LINE）で24時間、誰でも無料の相談窓口



子どものSOS受け止め方講演会が4月30日、講師に高橋聡美先生を迎え、垂水市文化会館で行われました。これは、子どものSOSの受け皿となる保護者等を対象に、SOSの受け止め方に関する知識を身に付けることを目的に開催されたものです。今回は、新たな取組として、「親子室の設置」や、「YouTube生配信」も行われ、当日は、「子ども・若者の依存の理解と対応」をテーマに、150人（来場者118人・生配信視聴者32人）が参加し、子どもたちが抱える課題とSOSの受け止め方を講師の体験談も交えながら講演が行われました。本市では、今年度も「SOSの出し方・受け止め方教育事業」として小・中学校での授業、研修会を計画しております。今後も関係団体と連携し、自殺対策の本質である生きることへの包括的な支援を推進してまいります。

令和5年度 鹿児島県消防署長会春季総会

消防本部総務課 ☎32-1019



▲県内の消防署長の集合写真

令和5年度鹿児島県消防署長会春季総会が、4月13日に森の駅たるみずで開催されました。同会は、県内の消防署長の融和協調を図り、消防業務の調査研究と消防の発展を目的としています。当日は、県内の消防本部から30人の消防署長が一堂に会し、情報の交換、消防制度の改善研究、職員の教養訓練等について活発に意見が出されました。本市の市来消防署長は、「コロナ対応で3年ぶりの対面開催となり、ホスト役として連携の確認を行い、有意義な総会となりました」と話しました。本市では、今後も関係団体と協力して、安心・安全なまちづくりを推進してまいります。



▲垂水市の紹介映像を視聴する教職員の方々

令和5年度垂水市新任・転入教職員宣誓式が4月14日に垂水市市民館大ホールで行われました。コロナ禍の影響で2年ぶりに一堂に会して行われた同式は、今年度垂水市に赴任してこられた市内の小・中学校の教職員27人が出席されました。新任・転入者宣誓では、代表として垂水中央中学校の吉永理人教諭が、熱意を込めて宣誓をされました。新任・転入者代表あいさつをされた水之上小学校の船迫光一校長は「子供たちが自分の人生を自分らしく豊かに切り拓き、垂水を大事に思う心をもった未来の創り手となるよう、全力で頑張ります」と話されました。教職員の皆様のご活躍を祈念いたします。

令和5年度 垂水市新任・転入教職員宣誓式

学校教育課学校教育部 ☎32-7213